



Q-Board

平成 20 年 4 月 15 日

各 位

上場会社名：ジェイエムテクノロジー株式会社  
(コード番号：2423 Q-B o a r d)

本社所在地：福岡市博多区下川端町 3 番 1 号

代表者名：代表取締役社長 岩永 康德

問合せ先：常務取締役管理担当 細川 誠哉

電話番号：092-272-4151

(U R L <http://www.jmtech.co.jp/>)

## 中期経営計画のお知らせ

当社は、このたび 2011 年 2 月期をターゲットとした「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 中期経営計画の背景と方針

当社グループは、福岡、東京を中心として I T 事業、半導体事業を営んでおりますが、当社グループの属する I T 業界は多層化した構造を持つ業界であり、売上を伸ばすためには開発要員を増やす以外に選択肢がなく、更なる増益を図るためには生産性の向上に加えて売上の 6 0 % 程度 (平均) を占める外注費を含めた人件費を削減する以外に方法がないといった構造となっております。このような業界の現状を踏まえ、当社グループでは積極的な研究開発投資を行い、「サービス提供力」・「インフラ構築力」を研鑽することにより競合他社との差別化を図っていく方針であります。

また、最近の傾向として I T ベンダー業界は「“作る” から “組み立てる” 」という方向性を志向しており、I T ユーザーは「“所有する” から “利用する” 」という方向性を求めています。当社グループでは、こうした方向性に対応するため、向こう 3 年間をかけ当社グループの人員を上流工程 (企画・設計コンサルティングなど) を中心とする全体統括部門と中下流工程 (S I、製造、運用など) を中心とする執行部門に分け、水平分業、垂直統合のハイブリッド体制を確立する方針であります。

半導体業界におきましては、300mm ウェハ対応ラインをはじめとした最先端ラインに対する設備投資が進んでいくものと予想されますが、海外での設備投資の増加、在庫調整の影響等から国内における半導体メーカーの設備投資は限定的なものになると予想されます。このような状況のもと、当社では安定した受注の確保を行うとともに、付加価値の高い技術サービスの提供を行うことにより、競合他社との差別化を図っていく必要があると考えております。

このような経営環境を乗り切るとともに更なる成長に向けて邁進していくため、中期経営計画を策定いたしました。

## 2. 中期経営計画の期間

2008年3月～2011年2月

## 3. 中期経営計画の概要

当社グループの成長の源泉は、優秀なエンジニアの確保・育成並びに定着を図ることであると考えております。当社グループでは、引き続き優秀なエンジニアの確保に努めるとともに、研修制度の充実、資格取得の推奨体系の整備、明確なキャリアパスの整備等を通じて人材の強化・育成を行い、個々のエンジニアが最大限に能力を発揮できるような環境作りを行ってまいります。

また、事業のセグメント別の概要は下記の通りであります。

### (1) IT事業

- ① 当社グループが今までに培ってきたインフラ構築やシステム開発・運用のノウハウを活かした事業展開を行うことによりサービスの差異化を図る。
- ② 優秀な協力会社を確保するとともにプログラミングは極力アウトソーシングし、国内外を問わず優秀な協力会社の整備・強化に努め、社外開発体制を強化する。
- ③ 積極的な研究開発投資を推進し、サービス提供力やインフラ構築力を向上させる。

### (2) 半導体事業

- ① 投資が行われる地域・メーカーを中心に人員を集中し、受注の確保を図る。
- ② 西日本を中心とした国内半導体メーカーからの直受け業務の拡大に努める。
- ③ パーツ販売等をはじめとした半導体関連の周辺サービスの拡充やIT事業との協業による半導体工場向けのシステム提案等を通じてお客様に対し、トータルソリューションの提供を行う。

## 4. 経営目標

単位：百万円

	2009年2月期予想	2011年2月期目標
売上高	2,710	4,000
営業利益	100	250
経常利益	95	250
当期純利益	50	130

(注) この中期経営計画は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想には様々な不確定要素が含まれており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がありますので、この予想数値に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えて下さい。

以 上